

林道の役割

林業に役立つ林道

林道は、林業にとって必要不可欠なものです。

- ・ 伐った「木」を運ぶ
- ・ 林業をする「人」を運ぶ
- ・ 林業のための「機械」を運ぶ
- ・ 森林をつくる「苗木」を運ぶ

昔はオノやノコギリを使って木を伐採して、馬や鉄道で運搬していました。



その後、トラクターやトラックなどの車両機械が普及して、通行のために林道が必要になりました。



現在では林業用の機械も進歩して、木を伐採してから運搬するまで全て機械でできるようになりました。林道があると大きな機械を山の中に運搬し、使用することができます。



車で走れる林道を使って、林業をする人も早く楽に仕事場まで行けます。森林をつくるための苗木などの物も楽に運べます。



森林の手入れ前



森林の手入れ後

急な山中でも、林道ができると森林を整備することができます。

身近なところで役立つ林道

農山村で生活している人たちも林道を使います。

そして、都市に住んでいる人たちも、林道を使って森林とふれあうことができます。

森林浴やキャンプ、登山に山菜採りなど...いこいの場として森林は利用されています。



その他にも...

- ・ 山火事予防のための森林巡視
- ・ 地震など災害の時の避難路
- ・ 高波で国道や道道が通行止めになったときの迂回路

など林道の役割はさまざまです。